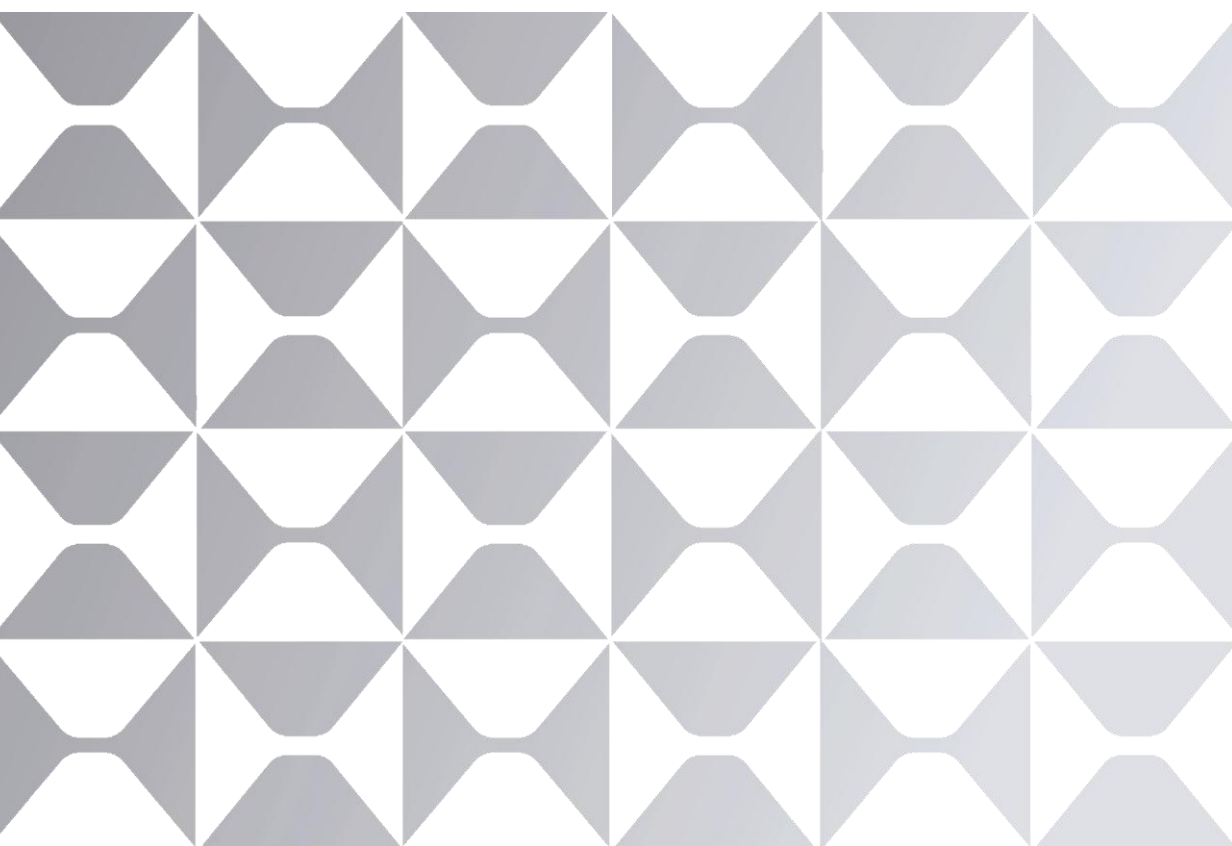


MAXHUB XBoard

V7 シリーズ



クイックスタートガイド

MAXHUB

このマニュアル内の画像はすべて参考用であり、実際の製品に基づいています。

目次

【内容】

- I. 開封チェックリスト
- II. 設置ガイド
 - 1. パネル設置位置の確認
 - 2. 壁掛け金具の取り付け手順
 - 3. 壁掛けの参考情報
- III. 無線モジュールの取り付け
- IV. PC モジュールの取り付け
- V. PC モジュールの取り外し
- VI. 電源のオン／オフ
- VII. コントロールパネル
 - 1. 設置準備
 - 2. 端子インターフェース
- VIII. BYOD (Bring Your Own Device)
- IX. よく接続されるポート
- X. MAXHUB インタラクティブディスプレイの起動
- XI. メンテナンス

MAXHUB 製品をお選びいただき、ありがとうございます。

製品の性能を最大限に引き出すため、使用前にこのユーザーマニュアルを注意深くお読みください。質問やサポートが必要な場合は、遠慮なく当社の技術サポートチームにご連絡ください。

安全上の警告

設置場所

- (1) 傾斜地や不安定なスタンド、十分に強度のない壁、テーブル、棚には製品を設置しないでください。
- (2) 直射日光やその他の熱源にさらさないでください。
- (3) 強い磁場を発生させる機器の近くには置かないでください。
- (4) 水がかかった場合はすぐに乾いた布で拭き取ってください。
- (5) 他の重い物を製品の上に置かないでください。
- (6) 製品をエアコンの風が直接当たる場所に置かないでください。

電源供給

- (1) 製品の動作電圧と周波数が現地の電源環境に適合しているか確認してください。
- (2) 雷雨の際は、製品の電源プラグを抜いてください。
- (3) 長時間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
- (4) 電源ケーブルが物理的または機械的に損傷していないか確認してください。
- (5) 付属の電源ケーブルを使用し、改造や延長はしないでください。
- (6) AC 電源がアースされていることを確認してください。
- (7) この電源ケーブルは、当該製品専用です。
- (8) 電源がオンの状態で突然電源を切ったり、プラグを抜いたりしないでください。

LCD スクリーン

- (1) MAXHUB スタイラス以外の硬い物や鋭利な物でスクリーンを触らないでください。
- (2) クリーニングする際は、電源を切り、柔らかい乾いた布で拭いてください。
- (3) 水や液体洗剤を使用しないでください。
- (4) 詳細なクリーニングが必要な場合は、正規代理店にお問い合わせください。
- (5) 高輝度の画像を長時間表示しないでください。

視聴距離

最適な視聴体験のために、画面の対角線長の 3~4 倍の距離を保つことをお勧めします。

温度と湿度

- (1) 製品をヒーターや放射線源の近くに置かないでください。
- (2) 製品を寒冷地から暖かい場所に移動させた場合、電源コードを抜き、少なくとも 2 時間かけて徐々に暖め、湿気を減らしてください。
- (3) 製品の動作温度は 0° C~40° C、動作湿度は 0%~90%RH です。
- (4) 製品を雨にさらしたり、高湿度の場所に置いたりしないでください。また、乾燥した涼しい室内環境を保つことが重要です。

換気

インタラクティブフラットパネルは、適切な放熱が行えるよう、十分な換気のある場所に設置してください。機器の左右と背面には最低 10cm、上部には 20cm のスペースを確保することをお勧めします。

イヤホン

イヤホンを使用する際は、長時間高音量で聞くと、一時的または永久的な聴力損失を引き起こす可能性があります。これを防ぐために、イヤホンを耳に挿入する前に音量を下げることを強くお勧めします。

省エネ

電源ボタンを短く押すと、インタラクティブフラットパネルが完全にシャットダウンするわけではなく、スタンバイモードに移行し、画面のみがオフになります。正しくシャットダウンするには、電源ボタンを約 3 秒間長押しし、画面中央に表示されるシャットダウンコマンドを確認してください。

クリーニング時の注意事項

背面パネルの通気口を塞がないでください。また、機器に液体を噴射しないでください。

電源スイッチの状態表示

「I」は電源オン、「O」は電源オフを意味します。

メンテナンス

メンテナンスや修理は正規代理店にお問い合わせください。

保証除外項目

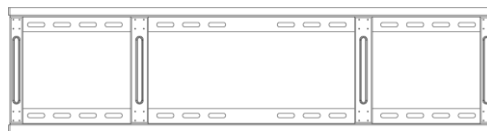
次のいずれかに該当する製品については、MAXHUB の保証対象外となります。

- (1) ユーザーマニュアルに違反して使用された場合の製品損傷。
- (2) 不適切なセットアップによるハードウェア損傷。
- (3) 許可されていない改造やメンテナンスによる製品損傷。
- (4) 不適切な環境での使用による製品損傷。
- (5) 異常な外部力による製品損傷。
- (6) 天災やその他の不可抗力による製品損傷。
- (7) 保証ステッカーの破損。
- (8) 有効な購入証明書が提供されない場合。

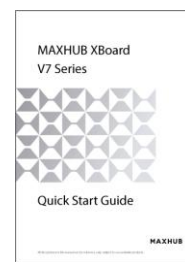
I. 開封チェックリスト



インタラクティブディスプレイ ×1



壁掛け用金具 ×1



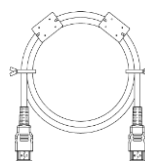
クイックスタートガイド ×1



無線モジュール ×1



電源コード*



HDMI ケーブル (1.5M) ×1



パッシブスタイラス ×2

* 電源コードは地域によって異なる場合があります。実際の製品をご確認ください。

II. 設置ガイド

1. パネル設置位置の確認

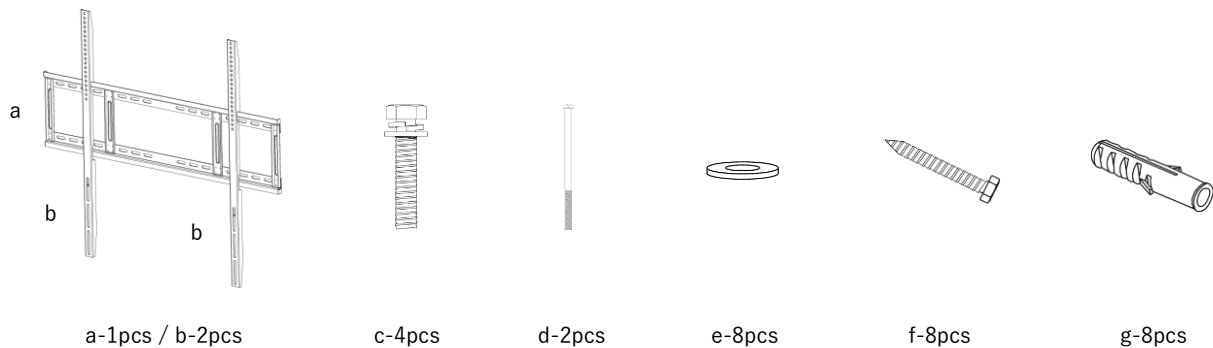
壁掛け用のネジ穴をパネルの背面にあるスタッドに合わせ、2本の壁掛けストリップで固定します。最初に上部のネジを固定し、次に下部のネジを固定します。合計4本のネジが必要です。

ロックホールの位置については、以下の表を参照してください。

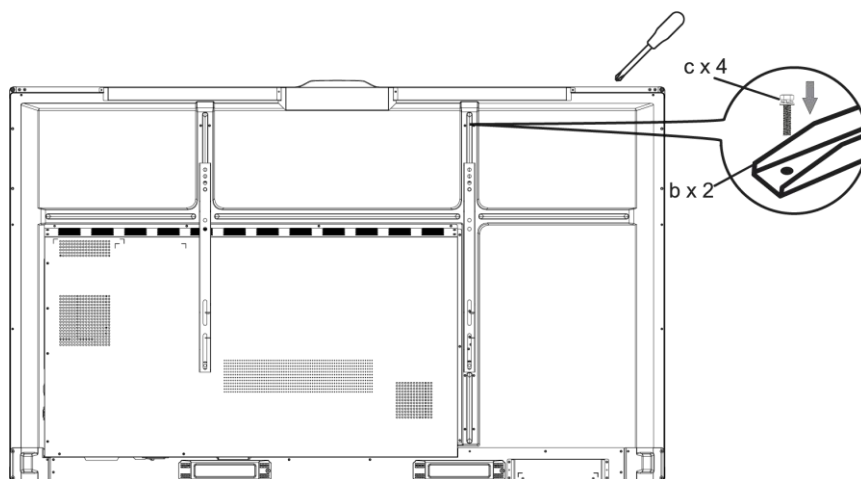
シリーズ	V7 シリーズ			
寸法	55 - WIB6540A	65 - WIB9060H	75 - WIB9060H	86 - WIB9060H
L 1	400 mm	600 mm	800 mm	800 mm
L 2	434.8 mm	444.2 mm	454.7 mm	578.5 mm
H 1	200 mm	400 mm	400 mm	600 mm
H 2	280.9 mm	233.2 mm	212.3 mm	300.2 mm

2. 壁掛け金具の取り付け手順

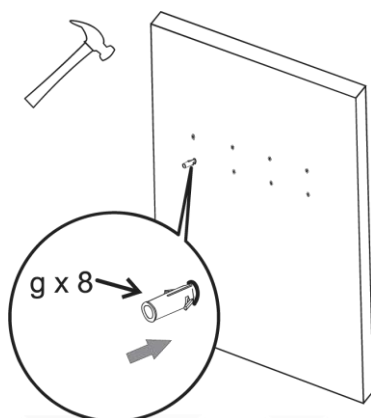
- ① 付属品ボックスから壁掛け用プレートアクセサリパッケージを取り出します。



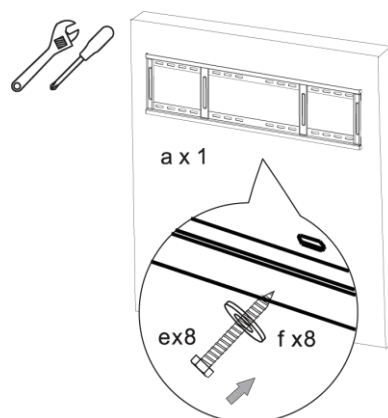
- ② パネルを箱から取り出し、設置時に保護するため、マットなどの柔らかい面に置きます。



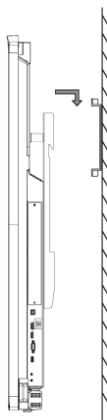
- ③ 拡張ゴムプラグ 8 個を壁にねじ込みます。



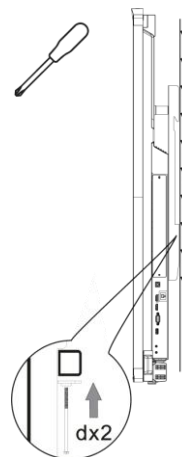
- ④ 壁ブラケットを拡張プラグ 8 個で、8 個のネジとガスケットを使って固定します。



⑤ パネルを垂直にブラケットに掛け、パネルがブラケットの中央にくるようにします。

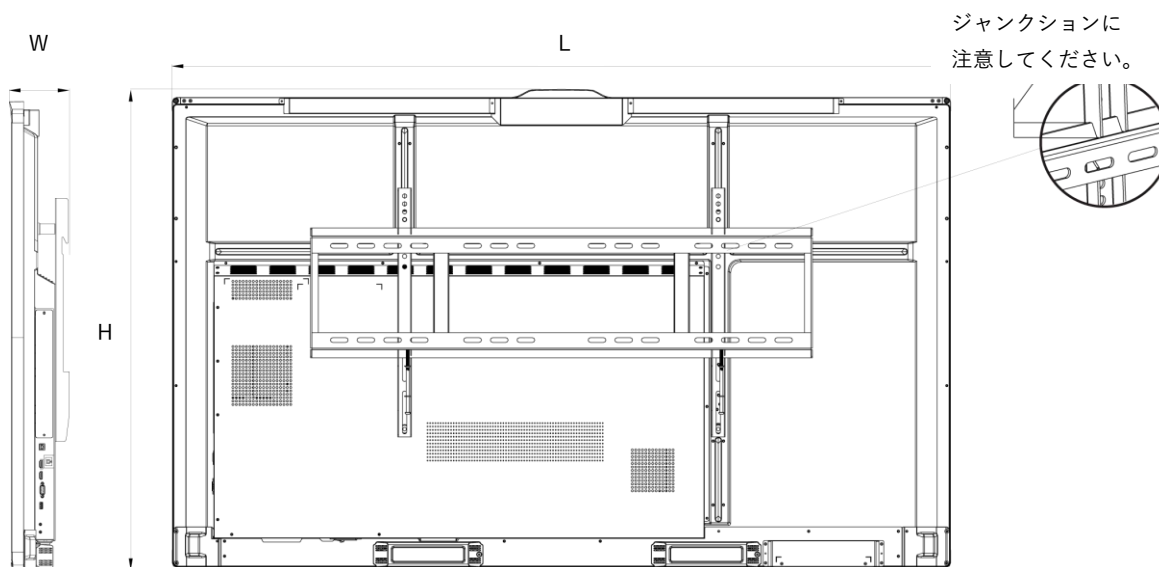


⑥ 安全ネジを反時計回りに締め、ネジの上部が2番目のネジ穴に到達するようにします。



3. 壁掛けに関する参考情報

壁掛けを計画する際は、パネルの物理的な寸法を考慮することが重要です。使用しやすさを確保するため、壁とパネルの背面の間に適切な距離を保つことをお勧めします。



シリーズ	V7 シリーズ			
寸法	55"	65"	75"	86"
L	1269.5 mm	1488 mm	1709.4 mm	1957 mm
H	792.9 mm	914 mm	1040.3 mm	1180.1 mm
W	130.5 mm	117 mm	117 mm	130 mm

注：表と図はあくまで参考用です。

III. 無線モジュールの取り付け

無線モジュールのセットアップを行う前に、以下の項目が準備されていることを確認してください。

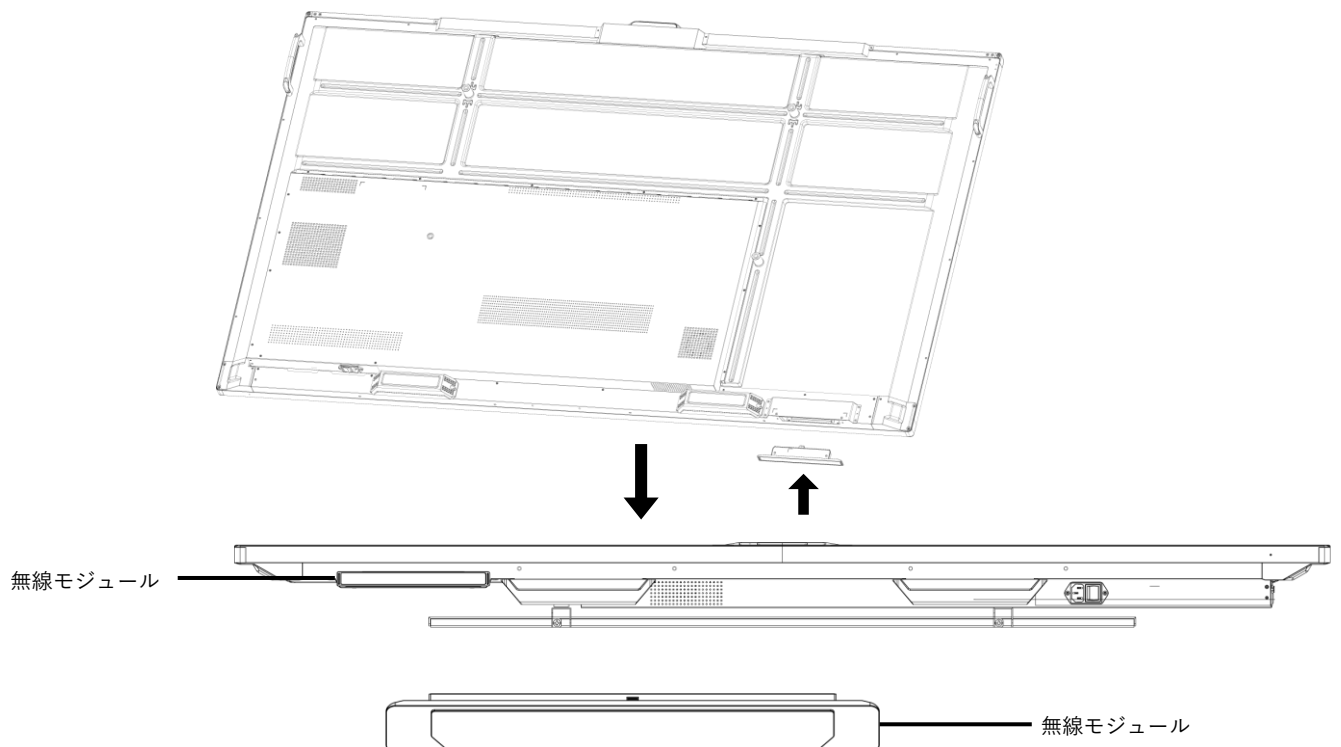
- インタラクティブフラットパネル ×1
- 無線モジュール ×1

⚠ インタラクティブフラットパネルの電源コードが取り外されていることを確認してください。

ステップ1: インタラクティブフラットパネルの下部にあるマイラーストリップを取り外します。プラスドライバーを使用して2本のネジを緩め、カバーを取り外します。




ステップ2: 無線モジュールを無線モジュールスロットに挿入し、ネジで固定します。



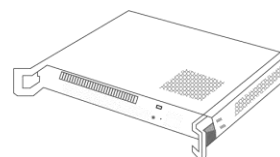
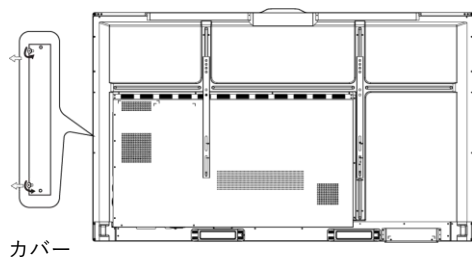
注：この無線モジュールは、上記のスロットに差し込むことで、インタラクティブフラットパネルでのみ動作します。

IV. PC モジュールの取り付け

 インタラクティブフラットパネルの電源コードが取り外されていることを確認してください。

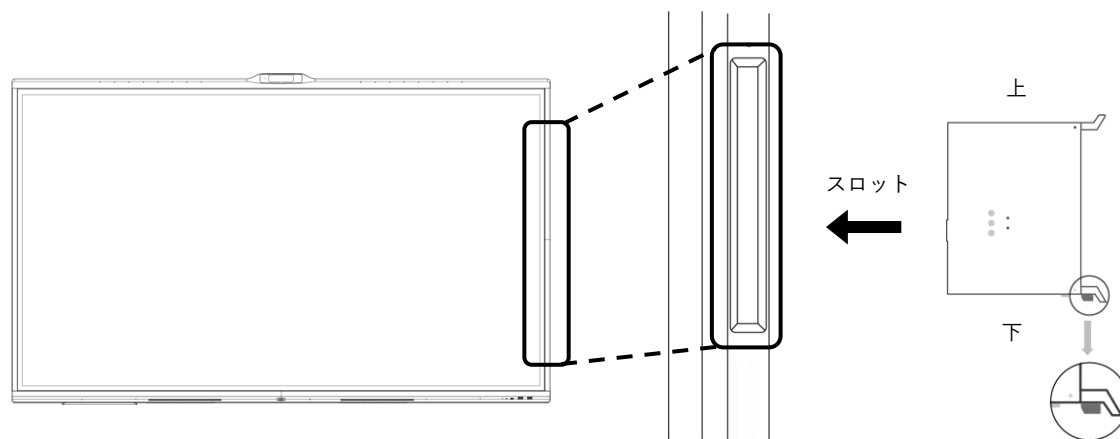
ステップ 1: ネジを外し、カバーを取り外します。

ステップ 2: PC モジュールを準備します。

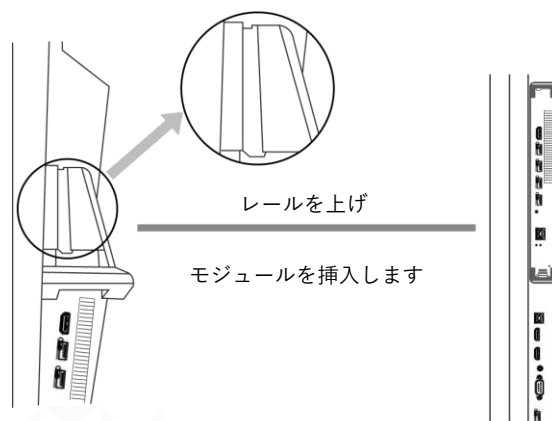


PC モジュール


ステップ 3: 正しい向きで PC モジュールをスロットに合わせます。

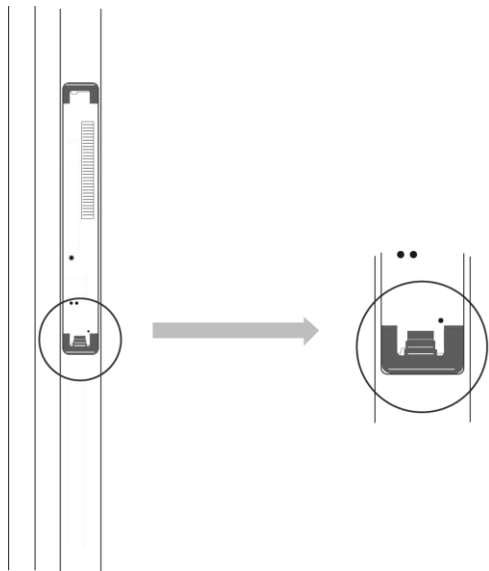


ステップ 4: PC モジュールの取り付け。



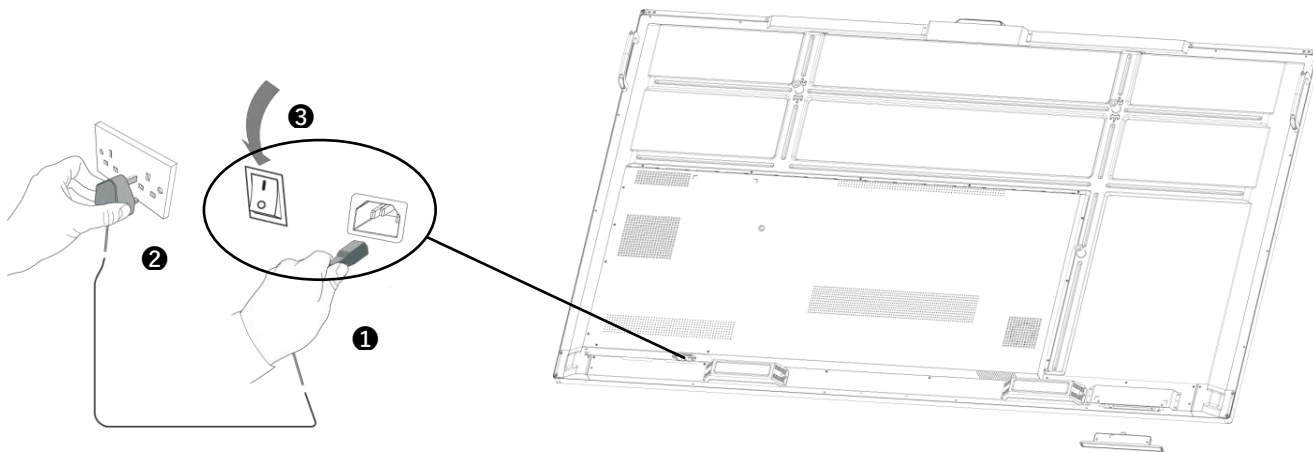
V. PC モジュールの取り外し

 モジュールを取り外す前に、電源がオフになっていることを確認してください。



モジュールを取り外すには、ネジを緩め、ロックを解除します。

VI. 電源のオン／オフ



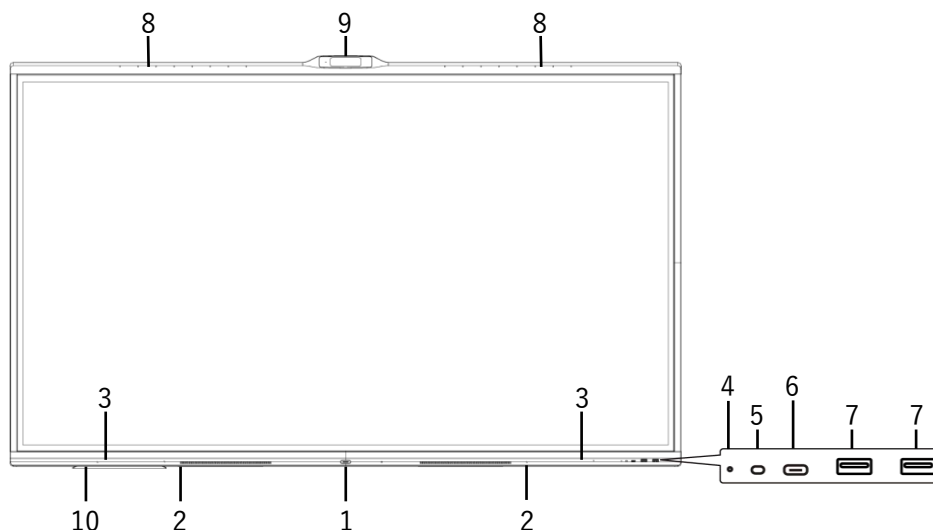
- ① 製品の電源ソケットに電源ケーブルを差し込みます。
- ② 電源ケーブルを電源供給に差し込みます。
- ③ ロッカースイッチを反転させ、電源ボタンを押します。


製品が電源オンになると、インジケータライトが白色に変わります。

VII. コントロールパネル

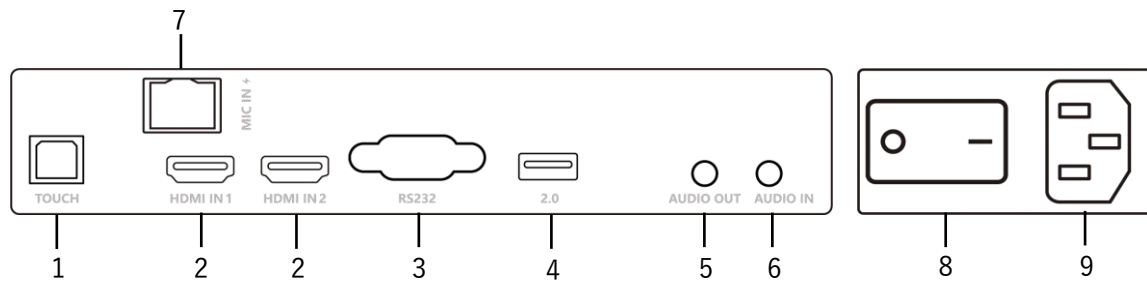
製品の正常な動作を確保するためには、ホコリや湿気を避けることが重要です。柔らかくホコリのない乾いた布で定期的に掃除し、掃除の前に製品の電源を抜いてください。

1. 設置準備



No.	項目	機能説明
1	 電源ボタン (インジケーター付き)	スタンバイモードでは、電源ボタンを短く押すと、スタンバイから電源オンに切り替わります。 電源オンモードでは、電源ボタンを短く押すと、省電力モードに切り替わります。 電源オンモードでは、電源ボタンを2秒以上長押しすると、スタンバイに切り替わります。
2	スピーカー	音声出力
3	磁気ゾーン	吸収性の磁気ペンを置くエリア
4	リモコン信号受信機	リモコン信号の受信
5	光センサー	周囲の光の明るさを検知
6	USB Type-C	DP 信号入力に対応。 USB 2.0, TYPE-C 5V 0.5A 対応。 画面共有ドングルのペアリングに対応。 BYOD (Bring Your Own Device)
7	USB ポート	モバイルハードディスク、USB キーボード、マウスなどの USB デバイスを接続。 USB 3.0 5V 0.9A 対応。
8	マイクロフォン	音声キャプチャ機能
9	カメラ	ビデオキャプチャ機能
10	Wi-Fi モジュール	取り外し可能な無線モジュール

2. 端子インターフェース

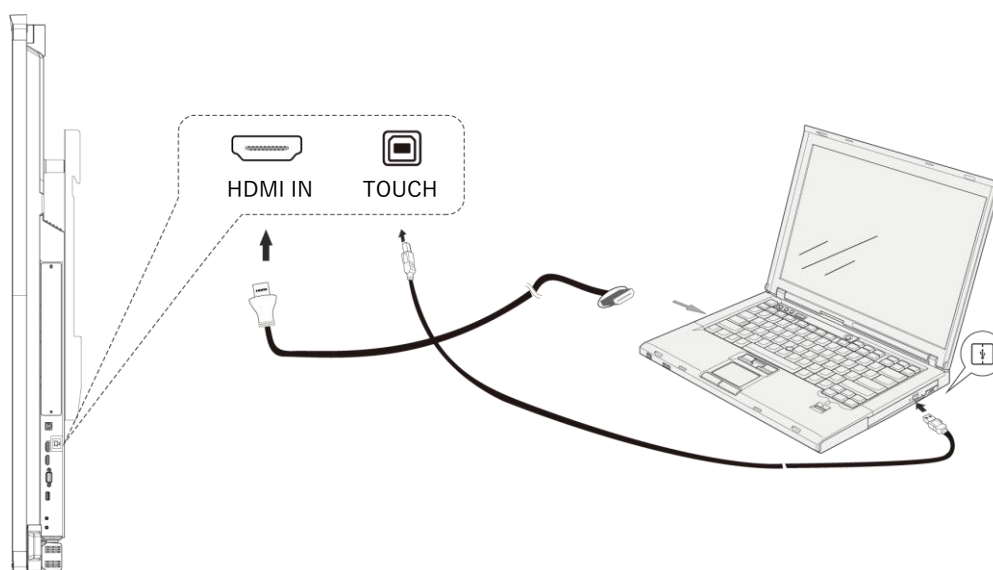


No.	項目	機能説明
1	TOUCH	カメラ、マイクロフォン、スピーカー、タッチパネルなどを接続し、追加機能をサポートします。
2	HDMI IN1/2	ハイデフィニションマルチメディアインターフェースの信号入力。HDMI 出力インターフェースを持つデバイス（HDMI 出力対応のパソコン、セットトップボックス、またはその他のビデオデバイス）に接続します。
3	RS232	シリアルインターフェース。デバイス間でデータを相互に転送します。
4	USB ポート	5V 0.5A 対応。モバイルハードディスク、USB キーボード、マウスなどの USB デバイスを接続します。
5	AUDIO OUT	外部スピーカーへの音声出力。
6	AUDIO IN	外部音源の入力。
7	MIC IN	RJ45 オーディオ入力、デスクトップマイクのカスケード、30W POE 電源に対応。
8	AC SWITCH	AC 電源のオン/オフ。"I" は電源オン、"O" は電源オフを意味します。
9	AC IN	AC 電源入力。AC 電源に接続します。

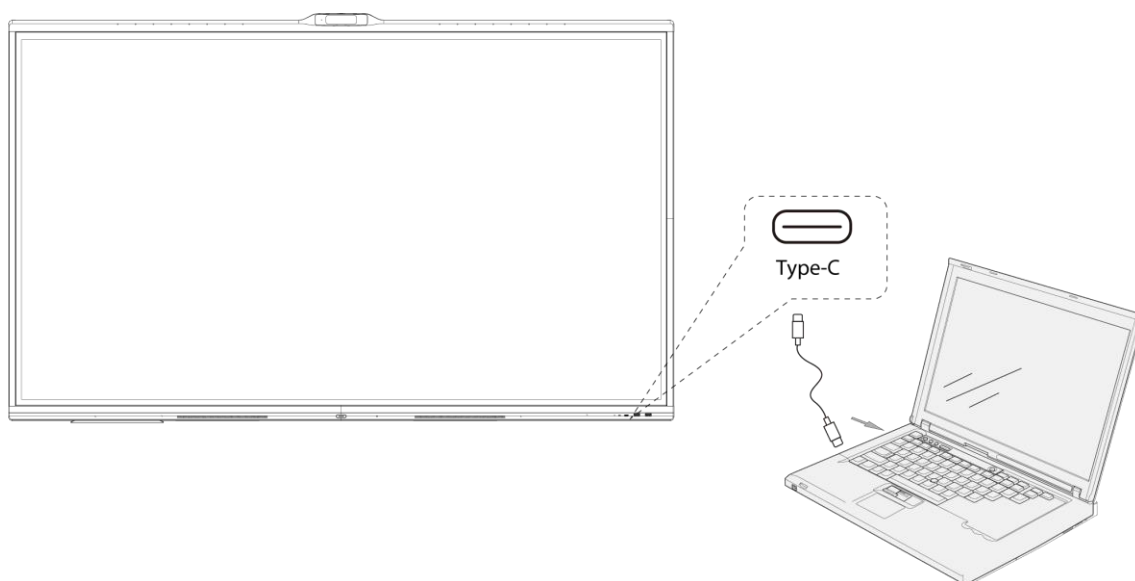
VIII. Bring Your Own Device (BYOD)

機能:

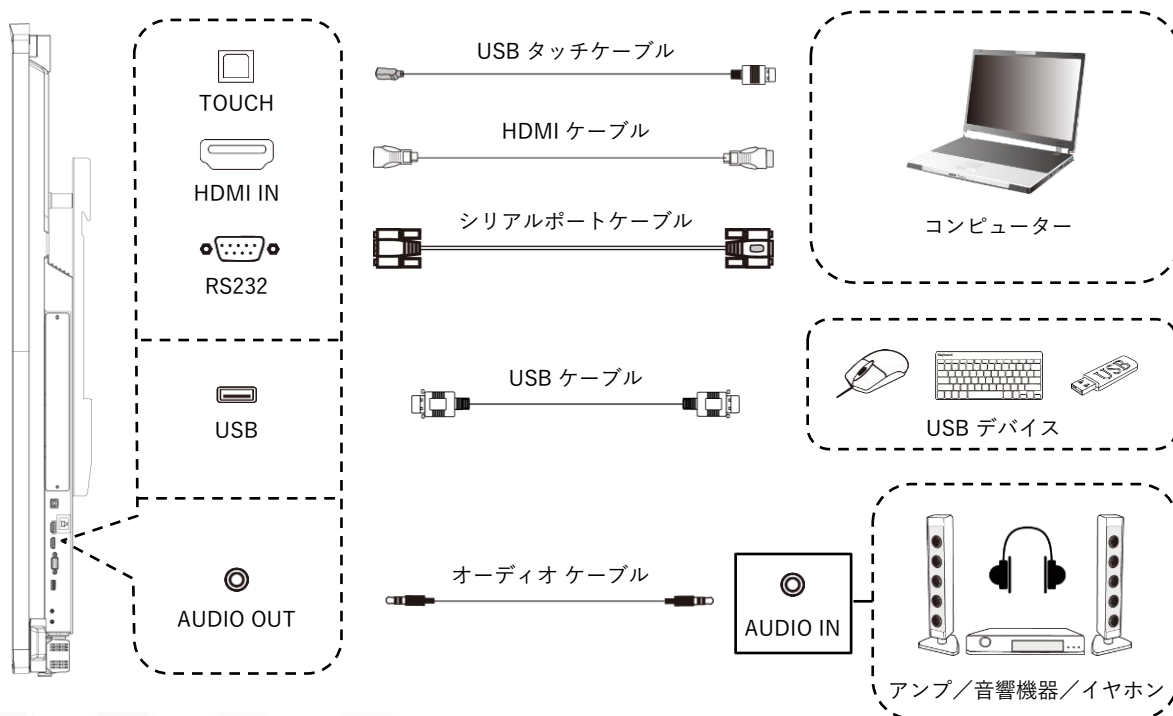
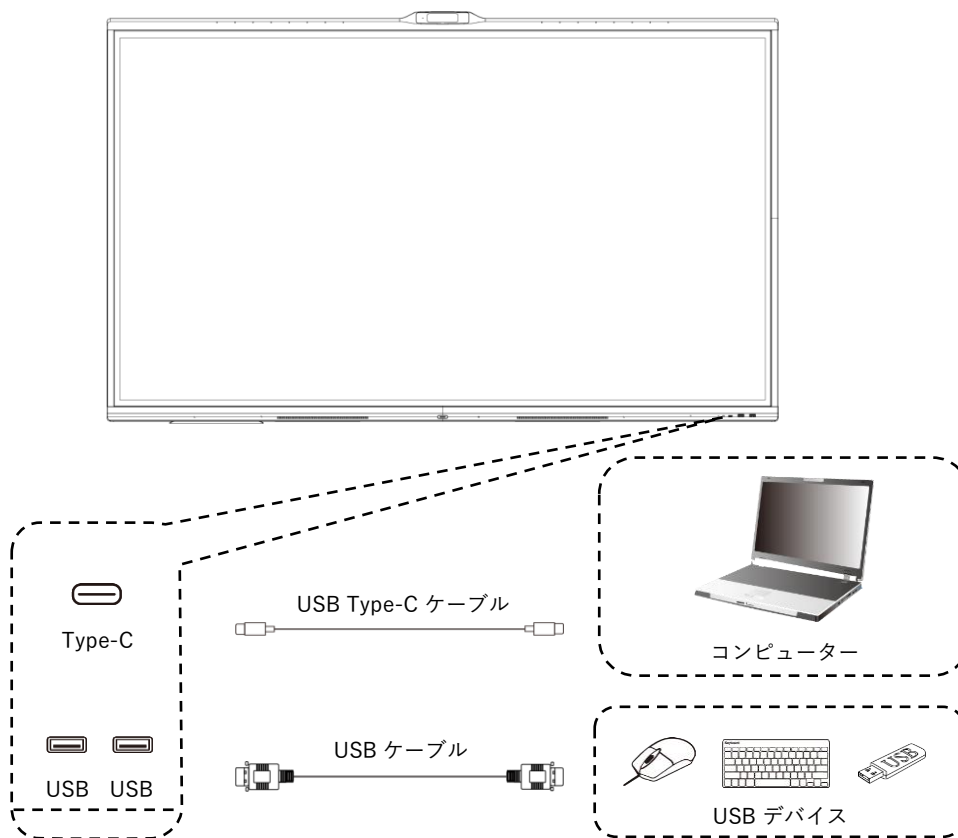
1. ノートパソコンからディスプレイへの有線画面共有
2. タッチディスプレイからノートパソコンの操作
3. ノートパソコンからディスプレイのカメラ、スピーカー、マイクロフォンへのアクセス



2. USB Type-C 経由

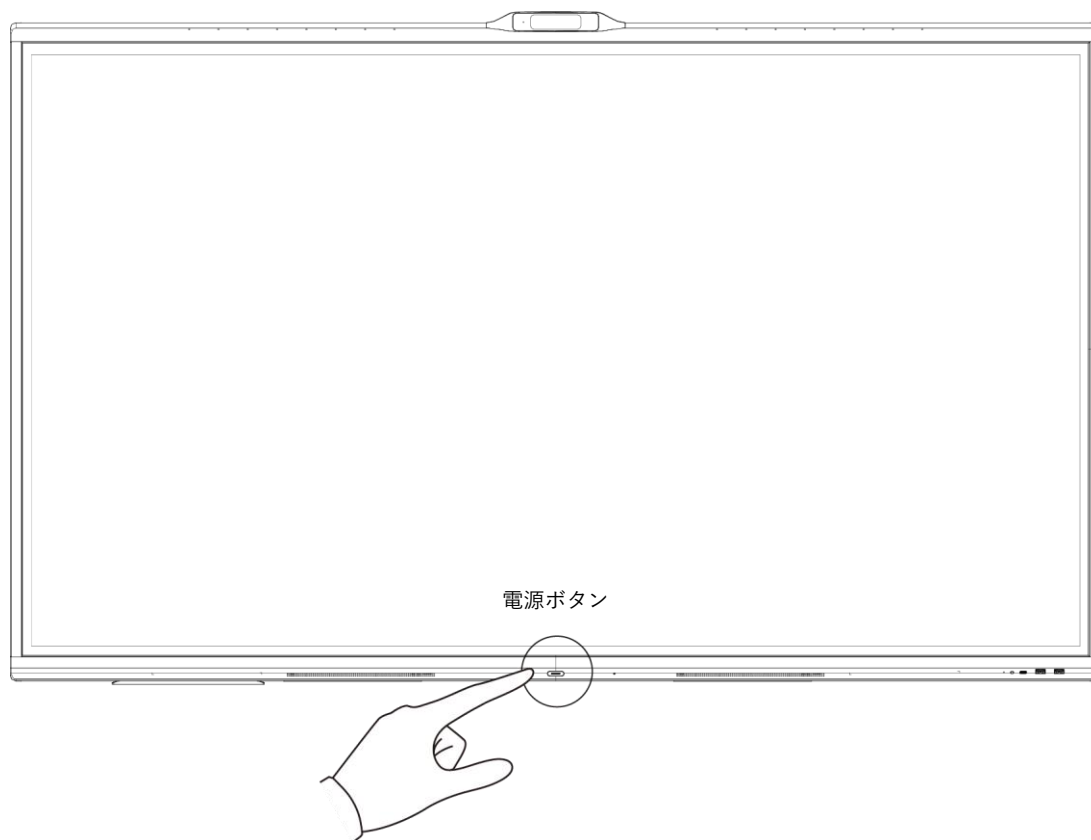


IX. よく接続されるポート



X. MAXHUB インタラクティブディスプレイの起動

MAXHUB V7 を起動するには、電源ボタンを押します。デバイスが起動すると、すべての機能が使用可能になります。



XI. メンテナンス

製品の正常な動作を確保するため、ホコリや湿気を避けることが重要です。柔らかい乾いた布で定期的に掃除してください。掃除の前に必ず電源を抜いてください。

画面の掃除方法

1. 柔軟剤または洗剤を 75% アルコールに溶かします。
2. 柔らかい布をその溶液に浸し、絞って乾かします。
3. 布を使って画面を拭いてください。

タッチフレームの掃除方法

乾燥していて柔らかく、ホコリのない布を使用してタッチフレームを掃除してください。

電源の抜き方

雷雨や長期間使用しない場合は、デバイスを保護するために電源を抜くことをお勧めします。

FCC 声明

この機器は、FCC ルール第 15 部に基づいてクラス B デジタルデバイスの制限に準拠しており、住宅設置での有害な干渉から保護するための合理的な措置が取られています。この機器は、電波エネルギーを生成、使用、放射し、適切に設置され使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置で干渉が発生しないことは保証されません。この機器がラジオやテレビの受信に干渉する場合（機器の電源を切って確認できる）、以下の方法で干渉を改善することをお勧めします：

- 受信アンテナの向きを変える、または位置を変える
- 機器と受信機との距離を増やす
- 機器を受信機とは異なる回路のコンセントに接続する
- 販売店またはラジオ/テレビの技術者に相談する

FCC 警告

このデバイスは FCC ルール第 15 部に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に従います。

(1) このデバイスは有害な干渉を引き起こさないこと


(2) このデバイスは、受信した干渉（望ましくない動作を引き起こす干渉を含む）を受け入れること。

責任者によって明示的に承認されていない変更や改造は、デバイスの使用権限を無効にする可能性があります。

ここに、Guangzhou Shirui Electronics Co., Ltd. は、この製品が重要な要件を満たしていることを宣言します。
完全な適合宣言は、以下の郵送先に問い合わせることで取得できます:

MAXHUB EUROPE B.V.

BEURSPLEIN 37, 3011AA ROTTERDAM, NETHERLANDS

 このシンボルは、製品またはそのパッケージに付されており、製品が家庭ごみとして処理されるべきではないことを示しています。製品はリサイクルと廃棄のために電気および電子廃棄物の収集場所に持ち込まれる必要があります。適切に廃棄することで、環境や人間の健康に悪影響を及ぼす可能性を防ぐことができます。材料のリサイクルは、天然資源の保存にも役立ちます。製品のリサイクルに関する詳細は、市役所、地元の廃棄物処理センター、または製品を購入した店舗にお問い合わせください。



NOTICE: HDMI および HDMI High-Definition Multimedia Interface という用語、ならびに HDMI ロゴは、米国および他の国における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

ENERGY STAR は、米国環境保護庁(EPA)の自主的なプログラムで、企業や個人が優れたエネルギー効率を通じて気候保護を行い、節約することを支援します。ENERGY STAR を取得した製品は、EPA が設定した厳しいエネルギー効率基準または要件を満たすことにより、温室効果ガスの排出を防ぎます。ENERGY STAR 認定モデルには次のロゴが表示されます:

この製品は「標準モード」設定で ENERGY STAR に適合しており、この設定でエネルギー節約が達成されます。標準モードの画質設定を変更したり、他の機能を有効にしたりすると、消費電力が増加し、ENERGY STAR の制限を超える可能性があります。ENERGY STAR プログラムの詳細は、EnergyStar.gov をご参照ください。



